

会 議 記 録 簿

件 名	令和7年度第2回恵庭市生涯学習推進協議会 (社会教育委員の会議・公民館運営審議会 合同会議)		
日 時	令和7年7月23日(水) 14:00～15:40	会 場	市民会館(大会議室)
出席者	生涯学習推進協議会委員 松田、井上、中山、平井、高橋、水野、茶園、根深、佐藤、 八木橋、野藤、徳家、吉田、渡辺、大塚、小川原、熊野 (欠席者)安中、神田、藤岡 市教委 ＜社会教育課＞ 黒氏課長、津田主査(社会教育主事)、飛弾野	人 数	委員 17名 市教委 3名 計 20名

概 要

1. 開 会

2. 会長挨拶

松田会長より挨拶

3. 【議題】

(1)第5期恵庭市生涯学習基本計画における事業評価結果について・・・津田主査より説明

(2)グループワーク「第5期恵庭市生涯学習基本計画の基本理念について」

- ・基本理念「次世代につなぐ“人づくり”“地域(まち)づくり”」という視点から見たときの恵庭市の現状と課題点といいね！と思う点を出してみよう！

○グループワークの内容

【Aグループ】

- ・課題と感ずる部分は、情報の周知不足や人とのつながりが減っている。
- ・地域活動の変化や、家が好きで外に出ない子ども達が増えている。
- ・地域と学校との繋がり意識への高まりや、ICT化による孤立が進んだことで、改めて人と人との繋がりが大切だと感ずる機会となった。
- ・また、新しい活動が増えたり、持続可能な活動を意識したりする機会となった。

【Bグループ】

- ・文教大学とのつながり、子どもにかかわる事業を中心に地域と大学生との連携が広がっており、卒業後も関わってくれている学生もいる。それによって、子どもたちも実感として地域感を感じることが出来ている。自分もボランティア側にといい子どもも、見受けられる。
- ・しかし、全体で見たときに、中高生の地域に対する関心の低さも課題として感ずる。背景としては、体験の格差や、実感の差によるものもあるではないか。探求の経験、中高生の居場所づくりが必要なのでは
- ・公民連携が充実しているが、本のまちづくりであれば、本屋などの充実があってもいいのでは
- ・PRの方法に課題を感ずる。様々な団体などの活動の情報をまとめたものをそれぞれがホームページ等で掲載しているが、様々な情報を一括で見られるような情報の拠点があればいいのではないか。
- ・地域活動でいえば、様々な事業が広がっているが、やっている人が固定化していて、すそ野が広がっていないように感ずる。次世代につなげることが課題。

- ・活動に関心を持った人との関係性・つながりづくりをどうしていくか。
- ・無償で活動することに限界を感じる。人件費を含めない助成金が多いため、支援する仕組み、活動を継続していく仕組みについて議論をしてもいいのではないか。

【Cグループ】

- ・コロナ禍の時に事業がなくなったことにより、活動や体験機会がなくなったり、コミュニケーションが希薄になったり、時期によっては孤独・孤立を感じたりする人もいたのでは。
- ・一方で事業内容の精査につながった。
- ・コロナ禍をきっかけに、価値観や、人との出会い方が変わったと感じる。
- ・恵庭は、人のために何かしたい人が多い、活動に対する心が広い、学ぶことが好きな人が多いという特徴がある。
- ・学生の地域参加も多く、世代交流したい方など、エネルギッシュな方が多い。
- ・恵庭に住み続ける人は少ないかもしれないが、いつかどこかで役立つ経験をしてきているのではないか。
- ・ただ、町内会の青年部が昔はあったが今はなくなってしまうなど、どこも後継者不足の声があがっており、次世代へつなぐということが課題。

【Dグループ】

- ・在住外国人が増えており、町内会が受け入れ態勢を作ること、まちに溶け込んでもくれる。
- ・島松の良いところは、空き地になったら家が建つため、子ども等、新しい世代が入っている。
- ・また、町内会活動は担い手が代わりしており、若い人が役員になり活動していくことで、ほかの若い人たちも町内会活動に参加してくれるようになっていく。
- ・子どもとの関わりも、申し込みをQRにすることで、一気に町内会事業の申し込みが増えた。
- ・若い人たちにとって、ITを使っていくと活動も参加もしやすいと感じる。
- ・一方で、若い人たちは、仕事をしているため、公園の花づくりなどの活動に参加できない、高齢者の方がフォローして上手にバランスがとれている。
- ・まちづくりを考えて活動しているのではなく、個々で動いている活動が、結果まちづくりにつながっている。
- ・若者流出が増えているが、ファイターズ2軍誘致の実現など、経済的な側面で雇用機会の創出になればまちの活性化につながるのでは。

4. その他

- ・コミスクだよりの配布について
- ・第1回コミスクかふえの案内
- ・第64回北海道社会教育研究大会(檜山大会)※社会教育委員のみ対

5. 今後について

今回のグループワークで交わされた意見を軸に、事務局において第5期総合計画の検証内容を取りまとめ、次回会議の際に委員とともに確認する。その内容をふまえて、次回は第6期計画の基本理念について検討を深める予定。次回会議は8月27日（水）14：00からを予定。

会議の様子

松田会長挨拶



事務局説明



グループワークの様子



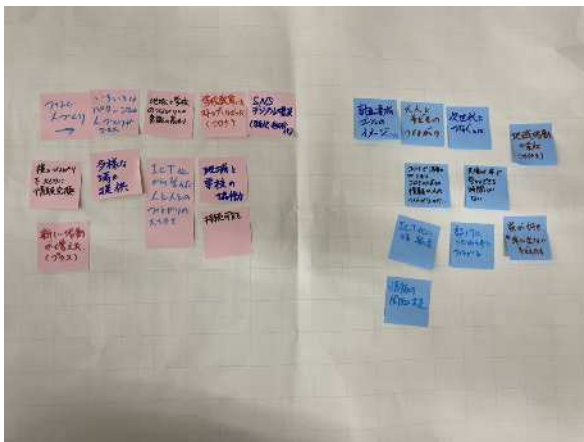
発表の様子



発表内容

【Aグループ】

- 松田委員、中山委員
八木橋委員、大塚委員



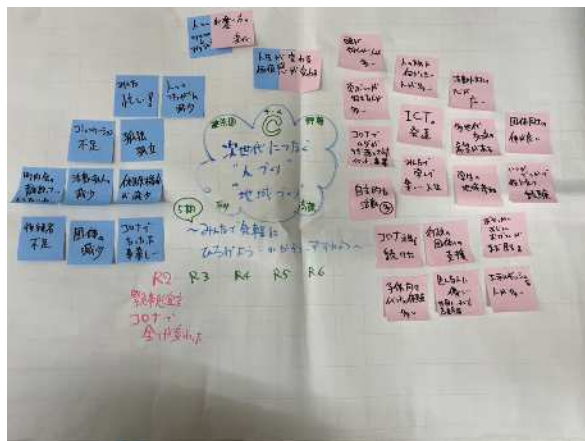
【Bグループ】

- 井上委員、根深委員、
渡辺委員、熊野委員



【Cグループ】

- 平井委員、茶園委員
高橋委員、野藤委員



【Dグループ】

- 水野委員、佐藤委員
吉田委員、小川原委員

